

情報公開文書

研究課題名	術中肺瘻修復としての遊離心膜脂肪組織貼り付け法の有用性の検討
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	当 院 所 属 <u>呼吸器外科</u> 氏名 <u>小林 宣隆</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ～2023 年 6 月
研究の概要	(本研究の意義・目的) 術後の肺からの空気漏れ(術後肺瘻)は最も多い術後合併症の1つで、長引くと入院期間の延長や感染症などその他の合併症の増加につながります。当科では原因となる部位を術中に特定し、その部位に処置をすることによって術後肺瘻を防止する試みを行っています。具体的には肺を切除した後に、肺の隣の心臓の周囲にある脂肪(心膜脂肪)を採取し、フィブリン糊や特殊な被覆材を用いて肺瘻原因部位に当てる処置をしています。今回の研究はその処置の有用性の検証を目的としています。 (研究方法) 術中肺瘻修復として遊離心膜脂肪組織を採取し、フィブリン糊とPGAシートを用いて肺損傷部に貼付した患者さんの術後肺瘻持続期間および手技にかかる時間を調査し、肺瘻停止効果と簡便性について評価します。
試料・情報	カルテデータ、遊離心膜脂肪組織
研究対象	2022 年 2 月から 2023 年 3 月に当院呼吸器外科で解剖学的肺切除術を施行したうち、術中にリークテストで肺瘻を認めた方。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>呼吸器外科</u> 氏名 <u>小林 宣隆</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439